

研究者名：毛内 嘉威（美術教育センター 教授）

研究課題名：道徳科の探究型授業モデルの開発と遠隔化システムを活用した指導と評価の開発的研究

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：平成30年度～平成32年度

※補助事業期間を令和3年度まで延長

※補助事業期間を令和4年度まで再延長

【研究概要】

本研究の目的は、「特別の教科 道徳」（以後「道徳科」という）の探究型道徳授業の指導法について検討し、道徳性を育むための授業モデルを開発する。また指導と評価の一体的な在り方に関する遠隔化システムを活用した実践的提案である。

- ①道徳科の指導方法を多方面から検討し、自らの経験や体験を基に考え深める探究型道徳授業モデルや、家庭や地域社会の人々を巻き込んだ探究型道徳授業モデルを開発する。
- ②指導に生かされ子供の成長につながる評価を、遠隔化システムを活用して大学と学校・教育行政が連携して、指導と評価の一体的な在り方を提案する。
- ③探究型道徳授業モデルを通して、指導と評価の在り方を検証し、有効性を明らかにする。